

煎茶図録における煎茶席の構成と座敷飾りに関する考察

○ 正会員 北岡秀和 *1
同 麓 和善 *2

はじめに

売茶翁高遊外(1675~1763)によって江戸中期に確立された煎茶は、文人墨客に引き継がれ、文化・文政(1804~1829)頃には知識層に広まり、以後明治から大正期にかけて流行した。全国各地で煎茶会が開催され、これにあわせて多数の茶会記が著された。そのなかに様々な煎茶席を挿図として収録したものが多数あり、本稿ではこれらを「煎茶図録」と総称する〔図1〕。管見するところ煎茶席に関する古典建築書は存在せず、また現存遺構も多くはないので、建築史的史料として煎茶図録は貴重である。本稿は、煎茶図録に描かれている煎茶席の構成と座敷飾りについて考察するものである。

1 煎茶図録の刊行年・出版地・記載内容

煎茶の茶会記は現在46本確認されており、このうち豊富な挿図を収録した煎茶図録は27本におよぶ〔表1〕。煎茶図録を刊行された時期で大別すると、江戸後期1本、明治前期9本、明治後期12本、大正期5本となる。また出版地で大別すると、大阪(大坂)9本、京都6本、東京6本、愛知3本、長野・長崎・出版地不明が各1本となっており、関西で多数出版されている。

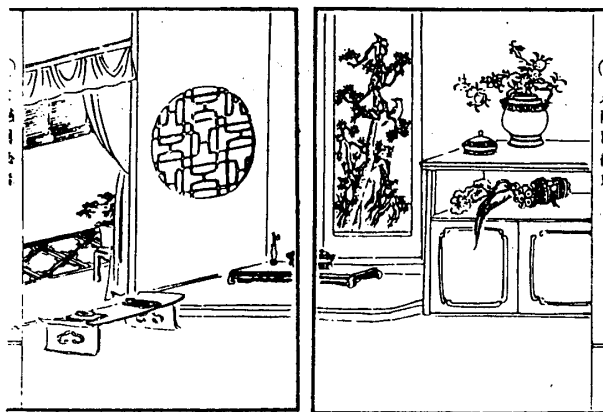
図録には諸席の挿図と書画・小道具の目録が記載されている。時期別に図録1本あたりの席数を比較すると、江戸後期が11席、明治前期が10席で、明治後期には7席に減少するが、大正期には14席と大幅に増加する。同様に出版地別にみると、京都13席、大阪(大坂)11席、東京8席、愛知5席、長野6席、長崎1席となっており、関西で刊行されたものに席の描写数が多い。

2 煎茶席の構成と座敷飾り

〔表1〕の27本に収録された席の総数を集計すると、256席におよぶ。これを席別に分類すると、待合席(8席)・前席(62席)・茶席(124席)・盆栽陳列席(13席)・書画展観席(30席)・酒席(8席)・その他(11席)となっている。

上記煎茶席について、各席の座敷飾りすなわち床・床脇・書院に注目し、これらを統計的に比較分析した。

まず席別に床・床脇・書院の構成をみると、床に床脇や書院が付く席が、待合席(全8席中6席)・前席(全52席中37席)・盆栽陳列席(全13席中7席)・酒席(全8席中8席)に多いのに対し、床のみの席は茶席(全124席中80



〔図1〕『青湾茗齋図誌』明治9年刊(名古屋工業大学所蔵)

〔表1〕煎茶図録一覧

史料名	著者	刊行年	出版地
『青湾茶会図録』	田能村直入	文久3年(1863)	大坂
『円山勝会図録』	熊谷久兵衛	明治9年(1874)	京都
『青湾茗齋図誌』	山中吉郎兵衛	明治9年(1874)	大阪
『直入翁寿筵図録』	田能村小斎	明治13年(1880)	大阪
『書画煎茶清案図録』	豊瀬竹三郎	明治13年(1880)	愛知
『雲烟供養図録』	杉田三郎助	明治13年(1880)	京都
『深志茗齋図録』	竹田禎十郎	明治13年(1880)	長野
『分史翁薦事図録』	加島信成	明治15年(1882)	大阪
『煎茶指南茗齋図録』	山本誉吉	明治17年(1884)	東京
『柳橋清賞』	不明	明治20年(1887)	東京
『中林竹洞竹溪翁墓碑建立薦事会展観録』	村上和光	明治27年(1894)	京都
『洪水翁薦事図録』	中野又左衛門	明治28年(1895)	愛知
『石庵翁追福展観録』	横瀬瀟古	明治29年(1896)	長崎
『中郷樓茶会』	田近竹邨	明治29年(1896)	京都
『清賞余録』	黒川新三郎	明治31年(1898)	東京
『万翁華甲齋誌』	市河三陽	明治31年(1898)	東京
『竹荘茶齋図録』	水谷鶴松	明治32年(1899)	大阪
『豫章堂茗齋図録』	阪田圭三	明治41年(1908)	大阪
『東山茶会図録』	岩田嘉兵衛	明治41年(1908)	京都
『山水清遊会』	不明	明治41年(1908)	不明
『濃江茗齋図録』	不明	明治42年(1909)	大阪
『煎茶式』	大塚杉陰	明治42年(1909)	東京
『雨竹居士薦筵図誌』	柳川善右衛門	大正2年(1913)	大阪
『楓川追薦録』	松井廉	大正4年(1915)	東京
『角山簞笠翁薦事図録』	山中簞笠堂	大正8年(1919)	大阪
『亦復一茶茶会図録』	越智武一	大正8年(1919)	京都
『学温園茶会図録』	不明	大正15年(1926)	愛知

席)・書画展観席(全30席中17席)に多くみられる。

また座敷飾りとしての小道具をみると、床には香具・花具が、床脇や書院には文具が多く飾られ、床柱には如意や佛子・数珠などの佛具が掛けられていることが多い。

2.1 時期的特色

江戸後期は史料が1本のため、前席9席・茶席2席と

A study on composition and interior design "Zashikizakari" of "Senchaseki" in the "Senzazuroku"

KITAOKA Hidekazu et al.

少ないが、床のみと床に床脇付が前席で4席ずつ、茶席で1席ずつみられ、床に書院付も前席に1席みられる。

明治前期になると待合席(1席)・書画展観席(5席)・酒席(1席)などがみられるようになるが、前席(24席)・茶席(57席)がまだ圧倒的に多い。席別に座敷飾りの特色をみると、床のみの席が多く、待合席で全1席中1席、前席で全24席中13席、茶席で全57席中43席、書画展観席で全5席中4席となっている。

明治後期になると、前席(20席)・茶席(37席)が減少し、盆栽陳列席(7席)や書画展観席(7席)など鑑賞を目的とする席が増え、また小道具を飾る床脇や書院付の席が53席と増える。床に床脇や書院付の席は、待合席で全6席中5席、前席で全20席中15席、盆栽陳列席で全7席中5席、書画展観席で全7席中4席、酒席で全1席中1席となっているが、茶席においては依然として床のみの席が全37席中20席と半数以上を占めている。

大正期では、さらに前席(9席)や茶席(33席)が減少し、かわって書画展観席(18席)が急増している。明治後期に比べて全般的にやや床のみの席が増えているが、茶席だけは床に床脇付の席が全33席中16席と増加している。

以上より、明治前期までは、茶事に主眼が置かれ、座敷飾りも簡素なものが好まれていたが、明治後期以降は、古書画や小道具の鑑賞に関心が向けられ、座敷飾りもそれにあわせて変化したと考えられる〔表2〕。

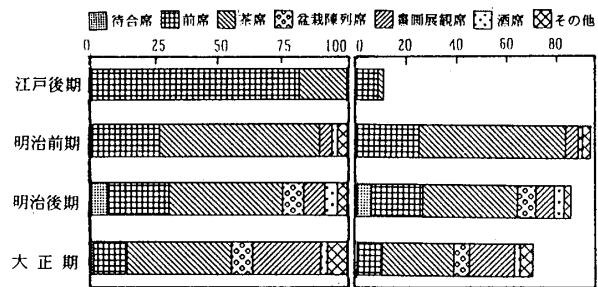
2.2 地域的特色

東京では、茶席(19席)の次に書画展観席(13席)が多く、加えて前席(10席)・盆栽陳列席(5席)など、鑑賞を目的とする席が多い。席別に座敷飾りをみると、床に床脇付の席が、待合席(全1席中1席)・前席(全10席中9席)・茶席(全19席中13席)・盆栽陳列席(全5席中3席)に多くみられるが、書画展観席においては逆に床のみの席が全13席中8席と多い。東京では、小道具・古書画などの鑑賞が重視され、座敷飾りもそれに適した、すなわち床に床脇や書院の付いたものが好まれていたといえる。

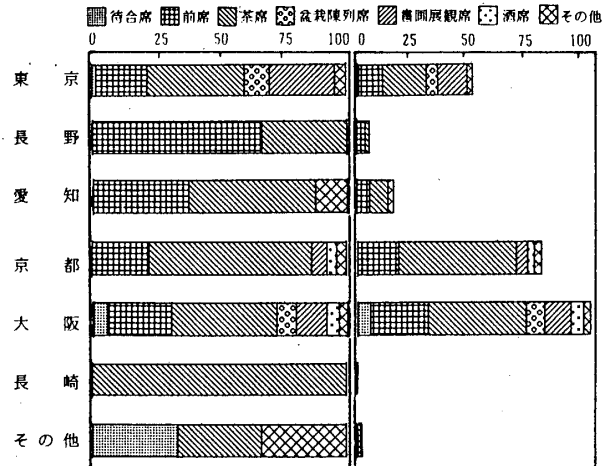
京都では、茶席(51席)が圧倒的に多く、前席(18席)は少なく、書画展観席(5席)・酒席(3席)はわずかに見られる程度である。席別に座敷飾りをみても、床のみの席が前席(全18席中10席)・茶席(全51席中38席)・書画展観席(全5席中3席)に多くみられる。京都では茶事優先の簡素な座敷飾りが好まれていたといえる。

大阪(大坂)では、前席(25席)・茶席(41席)が多いが、待合席(6席)・盆栽陳列席(8席)・書画展観席(12席)・酒席(4席)も他の地域に比して多い。席別の座敷飾りをみると、床のみの席は、茶席では全41席中27席と多いが、待合席(全6席中2席)・前席(全25席中12席)・盆栽陳列

〔表2〕 席構成比較表(時代別)〔左:構成比(%)・右:実数(件)〕



〔表3〕 席構成比較表(地域別)〔左:構成比(%)・右:実数(件)〕



席(全8席中4席)・書画展観席(全12席中6席)ではいずれも半数以下である。大阪(大坂)では茶席においてのみ簡素な座敷飾りが好まれていたといえる。

また長野は大阪に、愛知は京都によく似た傾向を示し、ともに関西系であるといえる。

以上より、概して関東では鑑賞を重視した装飾性の豊かな座敷飾りであるのに対し、関西では茶事優先の簡素な座敷飾りが好まれていたといえる〔表3〕。

むすび

煎茶席は待合席・前席・茶席・盆栽陳列席・書画展観席・酒席で構成されており、明治前期までは前席・茶席が大半を占めているが、明治後期以降は盆栽陳列席や書画展観席など鑑賞に重点をおく席が増える。また座敷飾りをみると、茶席では床のみの簡素な席が多く、その他の席では床に床脇付の席が好まれる。時代的には、明治前期までは床のみの簡素な席が好まれるが、以後床に床脇や書院付の席が多くなり、茶事よりも鑑賞に関心が移行したことがうかがえる。地域的には、関東は床に床脇付の席が多いのに対し、関西では床のみの席が多い。以上より、煎茶席は席の性格や時代・地域により、構成および座敷飾りに差異のあることが確認された。同様のことは、戸口・窓・高欄等の細部意匠においても考えられるが、これについては別稿で論じたい。

*1 名古屋工業大学大学院生

*2 名古屋工業大学助教授・工学博士

Graduate student, Nagoya Institute of Technology

Assoc.prof., Nagoya Institute of Technology, Dr.Eng.